



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

平成29年度住宅市場動向調査

＝ 民間住宅建築主アンケート調査票 ＝

- この調査は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの間に、ご自身の住宅を建築し、入居された方をお願いするものです。
- この調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、ご返送ください。
- この調査は、無記名式で行っております。調査票にご回答いただいた内容は、統計上の目的以外に使用することはありません。

☆ご回答にあたってのお願い

- ① 原則、世帯主の方にご記入をお願いします。もし、世帯主以外の方がご記入される場合は、世帯主の方の立場でご記入ください。
- ② 濃い目の鉛筆又はボールペンではっきりとご記入ください。
- ③ ご回答は指定された 内に該当する数値を記入するか、該当する選択肢番号に丸印をつけることによりお願いします。

平成29年9月
国土交通省住宅局

I. 平成28年4月1日から平成29年3月31日に建築された住宅（以下、「今回建築された住宅」といいます。）に関連しておたずねします。

問1. 今回建築された住宅は、何回目の住宅取得ですか。（○はひとつ）

1. 今回が初めて 2. 2回目 3. 3回目以上

(注)ここでいう住宅取得は、住宅の新築、購入（既存(中古)住宅を含む）、建て替え、譲り受け、相続など、持ち家を得ることを指します。

問2. 今回建築された住宅に決めるまでに、他にどのような住宅を検討しましたか。（○はいくつでも）

1. 新築一戸建て（注文） 2. 新築一戸建て（分譲） 3. 新築マンション 4. 中古一戸建て
5. 中古マンション 6. 賃貸住宅 7. その他（ ）

問3. 今回建築された住宅に決めた理由（○はいくつでも。「5」にお答えの場合は問3-1もお答えください。）

1. 新築住宅だから
2. 価格が適切だったから
3. 一戸建てだから
4. 信頼できる住宅メーカー（住宅販売業者）だったから
5. 住宅のデザイン・広さ・設備等が良かったから
（問3-1へ）
6. 住宅の立地環境が良かったから
7. 昔から住んでいる地域だったから
8. 親・子供などと同居した、または近くに住んでいたから
9. 将来、売却した場合の価格が期待できるから
10. その他（ ）

問3-1. どの部分が良かったのですか。
（○はいくつでも）
1. 住宅のデザインが気に入ったから
2. 住宅の広さが十分だから
3. 間取り、部屋数が適当だから
4. 台所の設備、広さが十分だから
5. 浴室の設備、広さが十分だから
6. 段差がない、手すりがあるなど高齢者等への配慮がよいから（バリアフリーなど）
7. 高気密・高断熱住宅だから
8. 火災・地震・水害などに対する安全性が高いから

問4. なぜ既存(中古)住宅にしなかったのですか。（○はいくつでも）

1. せっかくのマイホームは新築の方が気持ち良いから
2. 価格が妥当なのか判断できなかったから
3. リフォーム費用やメンテナンス費用で結局割高になると思ったから
4. 隠れた不具合が心配だったから
5. 耐震性や断熱性など品質が低そうだから
6. 給排水管などの設備の老朽化が懸念されたから
7. 見た目が汚いなど不満だったから
8. 間取りや、台所、浴室等の設備、広さが不満だったから
9. 保証やアフターサービスが無いと思ったから
10. その他（ ）

問5. 住宅の建築にあたり影響を受けたこと（ア～カそれぞれに○はひとつ）

	プラス要因として大きな影響を受けた	プラス要因として多少は影響を受けた	ほとんど影響を受けなかった	マイナス要因として多少は影響を受けた	マイナス要因として大きな影響を受けた
ア)景気の先行き感	1	2	3	4	5
イ)家計収入の見通し	1	2	3	4	5
ウ)地価／住宅の価格相場	1	2	3	4	5
エ)住宅取得時の税制等の行政施策	1	2	3	4	5
オ)従前住宅の売却価格(従前住宅を売却した場合のみ)	1	2	3	4	5
カ)金利動向	1	2	3	4	5

(注)プラス要因は、住宅取得意欲の向上につながった要因と考えてください。
マイナス要因は住宅取得にあたり不安要因や、住宅取得計画の縮小などにつながった要因と考えてください。

問6. 建築を依頼した工務店や住宅メーカーを探した方法（○はいくつでも）

1. 住宅情報誌で 5. 知人等の紹介で
2. 新聞等の折り込み広告で 6. 自身や親族・知人の勤め先で
3. 不動産業者で 7. 住宅展示場で
4. インターネットで 8. その他（ ）

問7. 今回建築された住宅の敷地の取得方法（○はひとつ。「1」「2」「3」にお答えの場合は問7-1もお答えください。）

1. 購入した } (問7-1へ)
2. 相続を受けた }
3. 贈与を受けた }
4. 土地を無償で借りている
5. 地代を払って借りている（通常の借地）
6. 地代を払って借りている（定期借地）
7. その他

問7-1. 敷地を取得された時期はいつですか。（○はひとつ）
1. 平成23年度以前 4. 平成26年度
2. 平成24年度 5. 平成27年度
3. 平成25年度 6. 平成28年度

(注)定期借地とは、当初定められた契約期間で借地関係が終了し、その後の更新のない借地のことです。

問8. 住宅建築後に工事の請負業者等から住宅の設計図書(配置図・平面図・立面図等)をもらいましたか。(○はひとつ)

1. もらった 2. もらわない 3. 分からない

II. 今回建築された住宅と直前の住宅についておたずねします。

問9. 今回建築された住宅の直前にお住まいだった住宅(○はひとつ) ※直前の住宅は、現在の住宅に入居するまでの仮住まいを除きます。

1. 持家	4. 都市再生機構・公社等 ^{注1} の賃貸住宅	7. 下宿・間借り
2. 社宅、寮、公務員住宅など(勤務先が用意した住宅)	5. 民間賃貸受託(普通借家)	8. 親・兄弟姉妹など親族の住宅
3. 公営住宅(都道府県・市区町村営住宅)	6. 民間賃貸受託(定期借家 ^{注2})	9. その他()

(注1)都市再生機構・公社等は、都市基盤整備公団、住宅・都市整備公団及び日本住宅公団等をいいます。
(注2)定期借家とは、契約更新がなく期間の満了により終了する借家契約による借家のことです。

問13へ

問10. 直前の住宅が賃貸住宅であった場合の月額家賃(共益費を含む)。(問9で「2」～「7」と答えた方のみにおたずねします。)

円 → 問13へ

問11. 今回建築された住宅の直前にお住まいだった住宅の取得時期(問9で「1」と答えた方のみ)(○はひとつ)

1. 平成 年頃 2. 昭和 年頃 3. 大正以前

問12. 今回建築された住宅の直前にお住まいだった住宅の処分方法(問9で「1」と答えた方のみ)(○はひとつ)

1. 取り壊して現在の住宅に建て替えた	4. 親、兄弟姉妹など親族が住んでいる	7. 今後売却予定
2. 売却した(問12-1へ)	5. 空き家になっている	8. 別宅として利用
3. 他人に貸している	6. 取り壊して空き地になっている	9. その他()

問12-1. 今回建築された住宅の直前にお住まいだった住宅の取得価格と売却価格

住宅の取得価格		住宅の売却価格	
家屋	万円	家屋	万円
土地	万円	土地	万円

※家屋と土地の価格が分割できない場合は、それぞれの家屋の欄に全額を記入してください。

問13. 今回建築された住宅と直前にお住まいだった住宅の比較

項目	直前にお住まいの住宅	今回建築された住宅
問13-1 住宅の建て方(○はひとつ)	1. 一戸建て(一つの建物が一つの住宅であるもの) 2. 集合住宅(一つの建物に複数の住宅があるもの)	
問13-2 延べ床面積 ^{注1} ※坪数は3.3倍して㎡に換算してご記入ください。	㎡	㎡
問13-3 敷地面積 ^{注1} (集合住宅の場合は記入不要) ※坪数は3.3倍して㎡に換算してご記入ください。	㎡	㎡
問13-4 高齢者対応設備(○はいくつでも) ※設備がある場合に○をつけてください。	1. 手すり(便所、浴室、廊下など2力所以上) 2. 段差のない屋内 3. 廊下などが車椅子で通行可能な幅(おおむね80cm以上) 4. 浴室・トイレの暖房設備	1. 手すり(便所、浴室、廊下など2力所以上) 2. 段差のない屋内 3. 廊下などが車椅子で通行可能な幅(おおむね80cm以上) 4. 浴室・トイレの暖房設備
問13-5 省エネ設備(○はいくつでも) ※設備がある場合に○をつけてください。	1. 二重サッシ又は複層ガラスの窓(全部又は一部の窓) 2. 太陽光発電装置	1. 二重サッシ又は複層ガラスの窓(全部又は一部の窓) 2. 太陽光発電装置
問13-6 定期借地制度 ^{注2} の利用の有無(○はひとつ)	1. 利用していない 2. 利用している	
問13-7 世帯主の方の片道通勤時間 ^{注3}	時間 分	時間 分
問13-8 住所	都道 市区 府県 町村	都道 市区 府県 町村

(注1)延べ床面積と敷地面積はつぎのように記入してください。
小数点以下を四捨五入してご記入ください。

(注2)定期借地とは、当初定められた契約期間で借地関係が終了し、その後の更新のない借地のことです。

(注3)通勤時間は「無職」または「自宅・住み込みで勤務」の場合は不要です。

Ⅲ. 世帯などについておたずねします。

問14. 住宅の建築着工当時の世帯主の方の年齢

歳

問15. 世帯主の方の住宅建築着工当時の職業（○はひとつ）

1. 農林漁業主	2. 自営業	3. 会社・団体役員	4. 公務員	5. 会社・団体職員
6. 派遣社員・短期社員	7. 年金受給者	8. 無職	9. その他（	）

(注)短期社員とは、雇用の契約期間が1年未満の社員又は契約期間に関わらず臨時的に雇用された社員

問16. 住宅建築着工当時の勤続年数（問15で「2」～「6」と答えた方にお伺いします。）

年

(注)自営業の方は、ご本人の開業時又は親族等から継承を受けた場合は継承時からの年数を記入してください。

問17. 平成28年の世帯年収（税込み）

万円

(注)①ご家族全員の収入の合計をご記入ください。
②ボーナス、配当金など財産収入、年金・仕送りなども含みます。
③自営業の方は、売上高でなく所得をご記入ください。

問18. 今回建築された住宅に住んでいる人

居住者の合計人数 人、（そのうち65歳以上の居住者の人数 人）
（そのうち18歳未満の居住者の人数 人）

Ⅳ. 住宅建築資金及び土地購入資金の資金調達方法についておたずねします。

問19. 住宅建築資金（土地購入資金を除く。）について

今回建築された住宅の資金はどのように調達されましたか。該当する項目全てに金額をご記入ください。

A. 自己資金の合計 (ア)～(オ)の合計	億	万円	返済期間
(ア) 預貯金、有価証券の売却代金、退職金	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
(イ) 不動産売却	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
(ウ) 贈与（住宅取得贈与の対象になるもの）	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
(エ) 遺産相続	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
(オ) その他	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
B. 借入金の合計 (カ)～(シ)の合計	億	万円	年
(カ) 民間金融機関 （住宅金融支援機構提携ローン「フラット35」）	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
(キ) 民間金融機関（(カ)以外のもの）	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
(ク) 住宅金融支援機構（直接融資）	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
(ケ) その他公的機関	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
(コ) 勤務先（勤務先の共済組合など含む）	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
(サ) 親、兄弟姉妹などの家族、知人	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
(シ) その他	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
C. 住宅建築資金総額 AとBの合計	億	万円	

問19-1
贈与者が親の場合、親の年齢（ 歳）

(注) ① (ア)～(オ)の項目の合計をA欄、(カ)～(シ)の合計をB欄に、A、Bの合計をC欄にご記入ください。
②借入金については元本のみで利息を含まない額をご記入ください。
③その他公的機関の欄には、住宅金融支援機構以外の公的機関からの借入れをご記入ください。

問20. 土地購入資金 について

平成24年度以降に土地を購入された方（問7-1で「2」～「6」と答えた方）のみにおたずねします。

土地購入資金はどのように調達されましたか。該当する項目全てに金額をご記入ください。

A. 自己資金の合計 (ア)～(オ)の合計		億	万円	返済期間
(ア) 預貯金、有価証券の売却代金、退職金		億	万円	
(イ) 不動産売却		億	万円	
(ウ) 贈与（住宅取得贈与の対象になるもの）		億	万円	
(エ) 遺産相続		億	万円	
(オ) その他		億	万円	
B. 借入金の合計 (カ)～(シ)の合計		億	万円	
(カ) 民間金融機関 （住宅金融支援機構提携ローン「フラット35」）		億	万円	年
(キ) 民間金融機関（(カ)以外のもの）		億	万円	年
(ク) 住宅金融支援機構（直接融資）		億	万円	年
(ケ) その他公的機関		億	万円	年
(コ) 勤務先（勤務先の共済組合など含む）		億	万円	年
(サ) 親、兄弟姉妹などの家族、知人		億	万円	年
(シ) その他		億	万円	年
C. 土地購入資金総額 AとBの合計		億	万円	

問20-1
贈与者が親の場合、親の年齢
(歳)

(注) ① (ア)～(オ)の項目の合計をA欄、(カ)～(シ)の合計をB欄に、A、Bの合計をC欄にご記入ください。
②借入金については元本のみで利息を含まない額をご記入ください。
③その他公的機関の欄には、住宅金融支援機構以外の公的機関からの借り入れをご記入ください。

問21. 住宅ローンの有る方（問19または問20で(カ)～(コ)に記入された方のみ）におたずねします。

問21-1. 住宅ローンの支払い額は年間どのくらいですか。

年間支払い額 万円

問21-2. 住宅ローン減税の適用を受けていますか。（○はひとつ）

1. 受けている 2. 受けていない 3. 受ける予定である

問21-3. 住宅ローンの負担についてどのようにお感じですか。（○はひとつ）

1. 非常に負担感がある（生活必需品を切りつめるほど苦しい）
2. 少し負担感がある（ぜいたくはできないが、何とかやっていける）
3. あまり負担感はない（ぜいたくを多少がまんしている）
4. 全く負担感はない（家計にあまり影響がない）

問22. 民間金融機関からの借入金について金利のタイプは次のうちのどれにあたりますか。（○はいくつでも）

（問19又は問20で「(キ)民間金融機関（(カ)「フラット35」以外のもの」の金額欄に記入された方のみにおたずねします。）

- | | |
|------------------------------|--------------------|
| 1. 変動金利型 | 5. 固定金利期間選択型（10年超） |
| 2. 固定金利期間選択型（3年以下） | 6. 全期間固定金利型（10年以下） |
| 3. 固定金利期間選択型（5年） | 7. 全期間固定金利型（10年超） |
| 4. 固定金利期間選択型（10年以下（2及び3を除く）） | |

問23. 今回の住宅建築に関する民間金融機関への融資の申し込みについておたずねします。
民間金融機関へ融資の申し込みをされましたか。(〇はひとつ)

- 1. 申し込みをしなかった
- 2. 申し込みをした(問23-1へ)

問23-1. 民間金融機関に融資の申込みをしようとした際に、次のような経験をしましたか。
該当する番号に〇をつけてください。(〇はいくつでも)(問23で「2」と答えた方のみ)

- 1. 融資条件を希望するものより厳しく(融資額の減額等)しなければ、融資は一切できないという民間金融機関があった
- 2. 融資条件を希望するものより厳しくしたとしても、融資は一切できないという民間金融機関があった
- 3. 「1」や「2」の経験はない

問23-2へ(問23-1で「1」又は「2」と答えた方のみ)

問23-2. 問23-1で「1」又は「2」と答えた理由や結果についておたずねします。
問23-1で「1」や「2」の対応を受けた理由として思いあたるものは何ですか。
該当するものに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

1. 年齢	9. 勤続年数
2. 家族構成	10. 担保評価額
3. 年収	11. 金融機関との取引状況
4. 所有資産	12. カードローン等の他の債務の状況や返済履歴
5. 返済負担率	13. 健康状態
6. 業種	14. わからない
7. 勤務形態(自営、契約社員等)	15. その他()
8. 勤務先の規模(資本金、従業員数等)	

結果として民間金融機関から融資を受けることができましたか。該当するものに〇をつけて下さい。(〇はひとつ)

- 1. 希望する融資条件で融資を受けることができた
- 2. 融資条件を希望するものより厳しくされて融資を受けることができた(融資額の減額等)
- 3. 民間金融機関からは融資を一切受けられなかった

希望額の融資を受けられなかった場合、資金の調達方法はどのようにされましたか。(〇はひとつ)

- 1. 足りない部分を自己資金でまかなった
- 2. 足りない部分はほかの金融機関で融資を受けた
- 3. その他()

長時間にわたりご協力ありがとうございました。